

令和8年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立 上木崎 小学校) 学校番号 13

【R8.6.8 学校運営協議会において学校経営方針と合わせて本承認】

学 校 教 育 目 標	心身ともに健やかな子の育成 やさしく かしこく たくましく
目 指 す 学 校 像	あいさつと思いやりで笑顔あふれる楽しい学校 ○豊かな心が育つ安全で楽しい学校 ○学ぶ喜びを味わえる活力ある学校 ○家庭・地域とともに歩む開かれた学校
重 点 目 標	1 対話を基盤とした授業づくりを通して、児童が自ら考え、仲間と学びを深める力を育成する。 2 児童一人ひとりの小さな変化や困り感に気づき、組織的な生徒指導と相談体制により、安心して生活できる学校づくりを進める。 3 学校・家庭・地域が教育の目的を共有し、参画と協働によって、児童の成長を支える学校づくりを推進する。 4 日常的教育活動の中で安全・健康に配慮し、児童が安心して学習・活動できる教育環境を維持する。 5 教職員が互いの専門性や立場を生かし、学び合いと業務改善を通して、持続可能で質の高い教育活動を実現する。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

		学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価			
		年 度 目 標				年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
		番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
学びの質の向上に 関する取組	1	(現状) ○ 基礎的・基本的な学力は概ね定着しており、多くの児童が授業に前向きに取り組んでいる。 ○ カリキュラマネジメントを通して、探究的・対話的な学びやG・S探究、ICTの活用を位置付け、考えを交流しながら学びを深める場面が見られる。 (課題) ● 学びを通して、自分や仲間の考えを生かしながら課題に向き合い、解決に向かおうとする過程を、児童自身が十分に実感・言語化するまでには至っていない。 ● 対話や協働が学習の中核となるよう、学年間・教科間での取組のつながりを意識した工夫が求められる。	①対話や協働を通して、仲間の考えを生かしながら課題に向き合い、解決しようとする力を育成する。 ②カリキュラムマネジメントによる学年間・教科間のつながりを意識した学びを通して、主体的に学ぶ意欲を高める。	①課題を共有し、対話や話し合いを通して解決に向かう学習場面を各教科・各単元に意図的に位置付けるとともに、学習の途中や終末に振り返りの時間を確保し、児童が自分や友達の考えを生かした学びの過程や成果を実感できるようにする。 ②カリキュラムマネジメントを生かし、教員が各学年・教科で育てたい力や学習内容のつながりを共有した上で、単元構成を工夫する。また、学習のねらいや前後の学びとの関係を分かりやすく示し、児童が学習の見通しをもち、学習の目的を捉えながら主体的に関わり、学ぶ意欲を高められるようにする。	①児童アンケートや授業中の振り返り等において、「友達の考えを聞いたり話し合ったりすることで、自分の考えが広がった・深まった」「課題に向けて考えを生かしながら学習した」と感じている児童の割合が高まっている。 ②児童アンケートや授業の振り返り等において、学習の見通しや目的を理解した上で「自分から学習に取り組めた」「学ぶことへの意欲が高まった」「楽しく、役立った」と感じている児童の割合が高まっている。また、授業中の様子からも、学習内容や課題に主体的に関わろうとする姿が継続的に見られる。					
		(現状) ○ 教職員が観察やアンケートを通して児童の様子を把握し、学年や関係職員との連携により、見守りや必要な支援を行うことで、安心して学習・生活できる環境づくりが進められている。 (課題) ● 児童の発達段階や背景が多様化する中で、小さな変化や困り感に早く気づき、学校と保護者で共有しながら支援につなげていくことが求められる。また、児童が困ったときに、自ら相談できる力を、意識して育てていく必要がある。	①児童一人ひとりの様子や変化を把握し、関係教職員、保護者と連携して、必要な支援につなげている。 ②児童が自分の気持ちや状況を表現し、困ったときに自ら相談できる力を育んでいる。	①観察やアンケート、日常の対話等を通して把握した児童の様子や変化を、関係教職員間で共有するとともに、必要に応じて保護者と連携しながら、児童一人ひとりに応じた支援につなげる。 ②日常の学級活動や授業、行事等に、児童が自分の気持ちや考えを安心して表現できる場面を意図的に設定するとともに、対話や振り返りを通して、困ったときに相談することの大切さを伝え、相談につなげる。	①観察記録やアンケート、関係教職員間での共有内容等から、児童一人ひとりの様子や変化が把握され、その情報が保護者との連携を含めた支援につながっている状況が確認できる。 ②児童アンケートや振り返り、授業中の様子等から、児童が自分の気持ちや考えを表現したり、困ったときに誰かに相談しようとする姿が見られる。					
心 の サ ポ ー ト に 関 す る 取 組	2	(現状) ○ 学校行事や教育活動、情報発信等を通して、保護者や地域との関わりを大切にしながら、学校の取組への理解や協力を得る関係づくりが進められている。また、学校運営協議会等を通じて、地域と学校が意見を交わす機会が設けられている。 (課題) ● 学校からの発信や協力依頼にとどまらず、地域や保護者と目的を共有し、ともに学校づくりに関わっていく関係へと発展させていく必要がある。そのため、教育活動への参画の在り方や情報の伝え方を工夫していくことが求められる。	①保護者や地域と学校の取組・実状を共有し、学校運営協議会での熟議を踏まえ学校づくりを進めている。 ②地域や保護者との目的を共有し、協働関係と参画により、教育活動を進めている。	①学校運営協議会において、学校の教育活動や課題、取組の状況を共有し、保護者や地域の意見を踏まえて熟議を行う。得られた内容を教育活動や学校運営の改善に生かし、地域とともに学校づくりを進める。 ②地域や保護者との関わりの中で、教育活動の目的を丁寧に伝えるときに、学習支援や行事、体験活動等への参画を促し、協働関係を生かした教育活動の充実、豊かな心の育成につなげていく。	①保護者や地域と学校の取組や課題について理解が共有され、学校運営協議会での熟議の内容が学校づくりに反映されている様子が見られる。 ②地域や保護者が学習支援や行事、体験活動等に参画する機会が確保され、教育活動の中で協働関係が生かされている様子が見られるとともに、児童の活動への意欲や主体的に関わる姿が表れている。					
		(現状) ○ 校舎や教育設備について大規模な改修はR7中に完了しており、現在は安全面や学習環境に配慮しながら、児童が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりが進められている。 (課題) ● 今年度予定されている体育館空調設置工事を含め、教育活動への影響を最小限に抑えつつ、安全・安心な教育環境を維持していく必要がある。そのため、環境整備を教育活動と関連付けながら、計画的に進めていくことが求められる。	①施設や設備の整備を踏まえ、安全・安心に配慮した教育環境を維持管理している。 ②体育館空調設置工事等を含む環境整備について、教育活動への影響を考慮しながら計画的に進めている。	①校舎内外や教育設備の点検・安全確認を定期的に行い、教職員間で情報を共有しながら、日常的な安全管理と環境整備に継続的に取り組む。 ②体育館空調設置工事の実施にあたっては、工程や利用制限について事前に周知し、教育活動や学校行事への影響を考慮しながら、安全に配慮した環境整備を進めていく。	①校舎内外や教育設備の点検が計画的に行われ、教職員間で情報が共有されることで、児童が安全・安心な環境のもとで学校生活を送っている。 ②体育館空調設置工事に伴う工程や利用制限について事前周知が行われ、教育活動や学校行事への影響を抑えつつ、安全に工事が進められている。					
学 校 づ く り に 関 す る 取 組	3	(現状) ○ 校舎や教育設備について大規模な改修はR7中に完了しており、現在は安全面や学習環境に配慮しながら、児童が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりが進められている。 (課題) ● 今年度予定されている体育館空調設置工事を含め、教育活動への影響を最小限に抑えつつ、安全・安心な教育環境を維持していく必要がある。そのため、環境整備を教育活動と関連付けながら、計画的に進めていくことが求められる。	①施設や設備の整備を踏まえ、安全・安心に配慮した教育環境を維持管理している。 ②体育館空調設置工事等を含む環境整備について、教育活動への影響を考慮しながら計画的に進めている。	①校舎内外や教育設備の点検・安全確認を定期的に行い、教職員間で情報を共有しながら、日常的な安全管理と環境整備に継続的に取り組む。 ②体育館空調設置工事の実施にあたっては、工程や利用制限について事前に周知し、教育活動や学校行事への影響を考慮しながら、安全に配慮した環境整備を進めていく。	①校舎内外や教育設備の点検が計画的に行われ、教職員間で情報が共有されることで、児童が安全・安心な環境のもとで学校生活を送っている。 ②体育館空調設置工事に伴う工程や利用制限について事前周知が行われ、教育活動や学校行事への影響を抑えつつ、安全に工事が進められている。					
		(現状) ○ 校内研修や日常の授業づくり、分掌業務等を通して、教職員が立場や経験に応じた役割を担い、互いに学び合いながら教育活動を進めている。また、業務の見直しや役割分担の工夫により、働きやすい職場環境づくりが進められている。 (課題) ● 教職員の経験や働き方が多様化する中でも、教育の質を維持・向上させていく必要がある。そのため、日頃の実践や研修での学びの成果を、着実に児童に還元する仕組みづくりが求められる。	①教職員が立場や経験に応じた役割を担い、学び合いながら教育活動を進めている。 ②日頃の実践や研修での学びの成果を生かし、教育の質向上に向けた取組が進められている。	①校内研修や日常の授業づくり、分掌業務等を通して、教職員がそれぞれの経験段階に応じた役割を担い、互いの実践を共有しながら学び合う機会を大切にし、教育活動の充実につなげていく。 ②日頃の実践や研修で得た学びを振り返り、業務の工夫や授業改善に生かすことで、教育の質の向上を図るとともに、その成果が児童の学びに還元されるよう取り組んでいく。	①教職員が役割や立場に応じて教育活動に関わり、授業や業務において互いに学び合う姿や取組が見られる。 ②日頃の実践や研修での学びが授業改善や業務の工夫に生かされ、教育の質の向上が児童の学びの様子に表れている。					
学 校 づ く り に 関 す る 取 組	4	(現状) ○ 校舎や教育設備について大規模な改修はR7中に完了しており、現在は安全面や学習環境に配慮しながら、児童が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりが進められている。 (課題) ● 今年度予定されている体育館空調設置工事を含め、教育活動への影響を最小限に抑えつつ、安全・安心な教育環境を維持していく必要がある。そのため、環境整備を教育活動と関連付けながら、計画的に進めていくことが求められる。	①施設や設備の整備を踏まえ、安全・安心に配慮した教育環境を維持管理している。 ②体育館空調設置工事等を含む環境整備について、教育活動への影響を考慮しながら計画的に進めている。	①校舎内外や教育設備の点検・安全確認を定期的に行い、教職員間で情報を共有しながら、日常的な安全管理と環境整備に継続的に取り組む。 ②体育館空調設置工事の実施にあたっては、工程や利用制限について事前に周知し、教育活動や学校行事への影響を考慮しながら、安全に配慮した環境整備を進めていく。	①校舎内外や教育設備の点検が計画的に行われ、教職員間で情報が共有されることで、児童が安全・安心な環境のもとで学校生活を送っている。 ②体育館空調設置工事に伴う工程や利用制限について事前周知が行われ、教育活動や学校行事への影響を抑えつつ、安全に工事が進められている。					
		(現状) ○ 校内研修や日常の授業づくり、分掌業務等を通して、教職員が立場や経験に応じた役割を担い、互いに学び合いながら教育活動を進めている。また、業務の見直しや役割分担の工夫により、働きやすい職場環境づくりが進められている。 (課題) ● 教職員の経験や働き方が多様化する中でも、教育の質を維持・向上させていく必要がある。そのため、日頃の実践や研修での学びの成果を、着実に児童に還元する仕組みづくりが求められる。	①教職員が立場や経験に応じた役割を担い、学び合いながら教育活動を進めている。 ②日頃の実践や研修での学びの成果を生かし、教育の質向上に向けた取組が進められている。	①校内研修や日常の授業づくり、分掌業務等を通して、教職員がそれぞれの経験段階に応じた役割を担い、互いの実践を共有しながら学び合う機会を大切にし、教育活動の充実につなげていく。 ②日頃の実践や研修で得た学びを振り返り、業務の工夫や授業改善に生かすことで、教育の質の向上を図るとともに、その成果が児童の学びに還元されるよう取り組んでいく。	①教職員が役割や立場に応じて教育活動に関わり、授業や業務において互いに学び合う姿や取組が見られる。 ②日頃の実践や研修での学びが授業改善や業務の工夫に生かされ、教育の質の向上が児童の学びの様子に表れている。					
学 校 づ く り に 関 す る 取 組	5	(現状) ○ 校舎や教育設備について大規模な改修はR7中に完了しており、現在は安全面や学習環境に配慮しながら、児童が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりが進められている。 (課題) ● 今年度予定されている体育館空調設置工事を含め、教育活動への影響を最小限に抑えつつ、安全・安心な教育環境を維持していく必要がある。そのため、環境整備を教育活動と関連付けながら、計画的に進めていくことが求められる。	①施設や設備の整備を踏まえ、安全・安心に配慮した教育環境を維持管理している。 ②体育館空調設置工事等を含む環境整備について、教育活動への影響を考慮しながら計画的に進めている。	①校舎内外や教育設備の点検・安全確認を定期的に行い、教職員間で情報を共有しながら、日常的な安全管理と環境整備に継続的に取り組む。 ②体育館空調設置工事の実施にあたっては、工程や利用制限について事前に周知し、教育活動や学校行事への影響を考慮しながら、安全に配慮した環境整備を進めていく。	①校舎内外や教育設備の点検が計画的に行われ、教職員間で情報が共有されることで、児童が安全・安心な環境のもとで学校生活を送っている。 ②体育館空調設置工事に伴う工程や利用制限について事前周知が行われ、教育活動や学校行事への影響を抑えつつ、安全に工事が進められている。					
		(現状) ○ 校舎や教育設備について大規模な改修はR7中に完了しており、現在は安全面や学習環境に配慮しながら、児童が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりが進められている。 (課題) ● 今年度予定されている体育館空調設置工事を含め、教育活動への影響を最小限に抑えつつ、安全・安心な教育環境を維持していく必要がある。そのため、環境整備を教育活動と関連付けながら、計画的に進めていくことが求められる。	①施設や設備の整備を踏まえ、安全・安心に配慮した教育環境を維持管理している。 ②体育館空調設置工事等を含む環境整備について、教育活動への影響を考慮しながら計画的に進めている。	①校舎内外や教育設備の点検・安全確認を定期的に行い、教職員間で情報を共有しながら、日常的な安全管理と環境整備に継続的に取り組む。 ②体育館空調設置工事の実施にあたっては、工程や利用制限について事前に周知し、教育活動や学校行事への影響を考慮しながら、安全に配慮した環境整備を進めていく。	①校舎内外や教育設備の点検が計画的に行われ、教職員間で情報が共有されることで、児童が安全・安心な環境のもとで学校生活を送っている。 ②体育館空調設置工事に伴う工程や利用制限について事前周知が行われ、教育活動や学校行事への影響を抑えつつ、安全に工事が進められている。					